

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 東彼杵町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	繰越財政規模 A+B-C
967	1,860	150	2,977

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	4,800	4,689	111	69	101	7,301	
公共用地取得造成事業特別会計	4	3	1	1	3	0	
一般会計等	4,804	4,692	112	70		7,301	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
国民健康保険事業特別会計	1,240	1,228	12	12	99	0	0	
老人保健事業特別会計	1,394	1,394	0	0	145	0	0	
介護保険事業特別会計	725	700	24	24	112	1	0	
簡易水道事業特別会計	259	232	28	3	62	424	71	法非適
農業集落排水事業特別会計	39	39	0	0	33	477	401	法非適
漁業集落排水事業特別会計	7	7	0	0	5	62	42	法非適
公共下水道事業特別会計	408	405	2	0	107	1,587	1,405	法非適
公営企業会計等 計				39		2,551	1,919	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
長崎県市町村総合事務組合 (一般会計)	19,474	19,314	160	160	2,828	0	0	
長崎県市町村総合事務組合 (会館管理事業特別会計)	58	54	4	4	0	0	0	
佐世保地域広域市町村圏組合	15	9	6	6	9	0	0	
佐世保地域広域市町村圏組合 (地方拠点基金事業特別会計)	24	23	0	0	0	0	0	
東彼地区保健福祉組合	1,124	1,047	77	77	0	683	683	
長崎県後期高齢者広域連合	864	846	19	19	5	0	0	
一部事務組合等 計				266		683	683	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
長崎県林業公社	3	75	0	0	27	0	34	3	
地方公社・第三セクター等 計			0	0	27	0	34	3	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		436	
減債基金		146	
その他充当可能基金		1,237	
充当可能基金計		1,819	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.61	2.36	△ 1.12	△ 15.00	△ 20.00	簡易水道事業特別会計		2.0	
連結実質赤字比率		3.68		△ 20.00	△ 40.00	農業集落排水事業特別会計		0.1	
実質公債費比率	14.5	15.4	0.9	25.0	35.0	漁業集落排水事業特別会計		0.0	
将来負担比率		90.1		350.0		公共下水道事業特別会計		0.3	
財政力指数	0.28	0.28	0.0						
經常収支比率	90.7	90.6	△ 0.1						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△ 20%である(公営競技は0%)。